

リンゴのマルバ台苗木を1年で作る方法

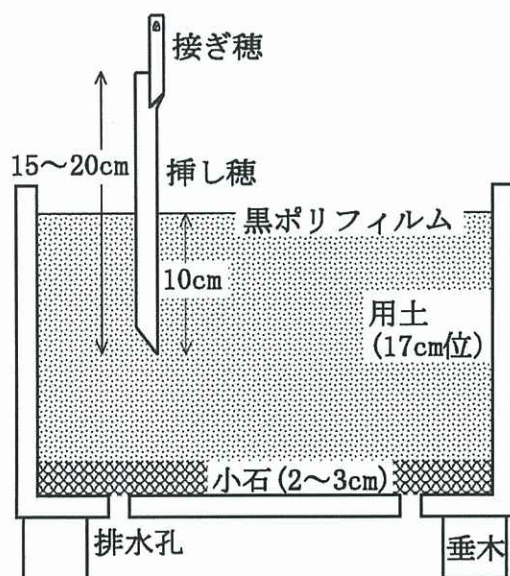
研究のねらい

従来の苗木のつくり方では、養成期間が長く、ほ場の利用効率が悪く、管理費用がかさむ難点があった。そこで、マルバカイドウの挿し穂に品種の枝を接ぎ木し、これの挿し木による1年育苗法を開発する。

研究の成果

春に、マルバカイドウ1年枝に穂品種を接ぎ木し、挿し木箱を利用して挿し木すれば、晩秋には良苗が得られる。

マルバカイドウは太さ0.7cm以上、挿し木箱は発泡スチロールの小箱（大きさ52×32×22cm）、用土は大きい礫を除いて細かく砕いた火山灰土、挿し木時期は4月中旬、1箱当たり挿し木本数は10～15本とする。



第1図 挿し木箱の断面図



晩秋の生育状況

発表資料

1. 渡辺政弘ら (1995). リンゴ接ぎ木枝の挿し木による苗木繁殖. 園学雑 64別2: 64-65.
2. 渡辺政弘 (1995). 一年でリンゴ丸葉台の良苗を簡単に育てる法(上). 現代農業 74(4): 304-307.
3. 渡辺政弘 (1995). 一年でリンゴ丸葉台の良苗を簡単に育てる法(下). 現代農業 74(5): 304-307.
4. 渡辺政弘 (1996). マルバ台苗木を一年でつくる方法. 青森農業 47(4): 74-77.
5. 栽培部 (1996). りんごマルバ台苗木を1年で作る方法. 平成8年度指導奨励事項・指導参考資料: 12-13.